

東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和2年度	事業年度	令和元年度
------	-------	------	-------

1 事務事業の概要

事務事業名	生活保護事務		整理番号	1005-004		
前総合計画体系	政策	第2章 やさしく健やかな東みよし	担当部署	福祉課		
	基本施策	6 社会保障の充実	所属長	住友 光弘		
	単位施策	(1) 生活保護世帯の自立支援	電話番号	82-6306		
根拠法令等	生活保護法					
事業実施方法区分	<input checked="" type="checkbox"/> 町直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金等	
事業継続年数	事業開始年度	不明	<input type="checkbox"/> 5年以内	<input type="checkbox"/> 6年～10年	<input type="checkbox"/> 11年～20年	<input checked="" type="checkbox"/> 21年以上

2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 <small>具体的に誰(なに)を</small>	町民	対象者	
事務事業の目的 <small>どのような状態にしたいのか</small>	事業を実施することにより、生活窮乏者を助け、全ての町民に最低限の生活を保障する。		
事務事業の内容 <small>どのような方法・手段で事務事業を行ったか</small>	<p>生活に困る状態になった町在住の方 → 町で一度保護制度の一般的名内容を確認 → 本人と県、町、町社協の4者で相談 → 町で相談用紙受取 → 民生委員に相談・書類作成 → 町に申請書類提出 → 民生委員から町へ意見書の提出</p> <p>町 → 西部総合県民局に町の添付書類を付けて送付 → 県のケースワーカーが調査し、国の基準に該当すれば現金その他の給付開始。</p> <p>町 → 生保該当者に毎月県から送付されてくる保護費を個人ごとに仕分けして毎月5日までに支払う。</p>		
事務事業の成果 <small>結果・実績はどうか</small>	<p>生活保護該当者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度末 152世帯 197人 ・平成30年度末 150世帯 188人 ・令和元年度末 168世帯 208人 <p>収入が国民年金のみの世帯からの相談が増えている。生活困窮度合いも深刻で複雑なものが多い。また、生活保護に至らずとも、生活困窮者の相談は増加の一途をたどっている。</p>		
特記事項			

3 事業費の推移と評価対象年度経費

	平成30年度	令和元年度(評価対象年度)	令和2年度(見込)					
事業費【(a)～(e)の合計】	0 <small>うち繰越分 ↓ 0</small>	0 <small>うち繰越分 ↓ 0</small>	0 <small>うち繰越分 ↓ 0</small>					
財源内訳	国庫支出金(a)	<small>うち繰越分 ↓</small>	<small>うち繰越分 ↓</small>					
	県支出金(b)	<small>うち繰越分 ↓</small>	<small>うち繰越分 ↓</small>					
	地方債(c)	<small>うち繰越分 ↓</small>	<small>うち繰越分 ↓</small>					
	その他(d)	<small>うち繰越分 ↓</small>	<small>うち繰越分 ↓</small>					
	うち受益者負担	<small>うち繰越分 ↓</small>	<small>うち繰越分 ↓</small>					
	一般財源(e)	<small>うち繰越分 ↓</small>	<small>うち繰越分 ↓</small>					
特定財源の名称・金額								
令和元年度経費の内訳 <small>事務事業に係る経費の詳細</small>	<table border="1"> <tr> <td>予算科目(歳出区分)</td> <td>会計</td> <td>款</td> <td>項</td> <td>目</td> </tr> </table> <p>相談、受付、支給の事務処理のみで、経費は支出していない。</p>			予算科目(歳出区分)	会計	款	項	目
予算科目(歳出区分)	会計	款	項	目				
備考								